

付録 技術基準の一覧

無線設備 試験項目等		空港デジタルMCA
割当周波数又は指定周波数		4 1 5 . 5 M H z ～ 4 1 7 . 5 M H z , 4 6 0 . 0 M H z ～ 4 6 2 . 0 M H z
チャンネルの数又は間隔		2 5 k H z 間隔
周波数の許容偏差		1 W 超 : $\pm 1 . 2 \times 1 0^{-6}$ $\pm 0 . 7 + A^{\text{注}} \times 1 0^{-6}$ (注) 周波数追従機能を使用する場合、Aは基準局の周波数の偏差 ($A \times 1 0^{-6}$) 1 W 以下 : $\pm 3 . 0 \times 1 0^{-6}$
占有周波数帯幅の許容値		2 4 . 3 k H z
スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値		1 W 超 : $- 6 0 \text{ d B c}$ 又は $2 . 5 \mu \text{ W}$ 以下 1 W 以下 : $2 5 \mu \text{ W}$ 以下
空中線電力	指定値	陸上移動局 : 3 W 以下 (電波法関係審査基準)
	許容偏差	+ 2 0 % , - 5 0 %
隣接チャンネル漏洩電力の許容値		搬送波周波数から 2 5 k H z 離調 $\pm R$ (R : 変調信号の伝送速度の $1 / 4$) の帯域内で 1 W 超 : $- 5 5 \text{ d B c}$ 又は $3 2 \mu \text{ W}$ 以下 1 W 以下 : $- 4 5 \text{ d B c}$ 以下
搬送波を送信していないときの漏洩電力		占有周波数帯幅内 : $- 5 0 \text{ d B m}$ 以下 占有周波数帯幅外 : 4 n W 以下
変調信号の送信速度		3 2 k b p s 以上
副次的に発する電波等の限度		4 n W 以下
送受信装置以外のその他の装置		制御装置 基地局の電波を受けることによる周波数の自動的選択 陸上移動局相互間の周波数の自動的選択 無線設備故障時の電波の発射停止